

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

就労支援事業

【

商工課

】

※重点事業(事業CD:6-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 労働問題への啓発を図るとともに、各種セミナー・相談などを通じて就労支援を図るため。

効果 勤労者等の労働環境の向上及び就労促進

【 事業の内容 】

- ・労働環境調査を行い、市内事業所の労働実態を把握するとともに労働問題への啓発を図った。
- ・求職者等に向けた就労支援事業を行った。
- ・勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・若者等に向けて、鎌倉で働く魅力を伝える事業を行った。

事業費					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
3,801	3,801	3,463		338		

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
9節	会計年度任用職員費用弁償	96	7
11節	消耗品費	60	51
	印刷製本費	120	144
13節	就労困難若年者支援業務委託料	891	891
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料	159	127
	労働相談業務委託料	330	330
	若者等支援事業委託料	200	0
14節	合同就職説明会会場使用料	200	190
	就労支援システム使用料	1,300	1,300
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金	115	113
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)	330	310

<主な特定財源>

・国県支出金 149

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福利厚生事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境の向上及び福祉増進

【 事業の内容 】

- ・勤労者退職金共済機構等との新規契約事業者に掛金の一部を補助した。
- ・福利厚生事業を行う団体等に補助金を交付した。
- ・市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生の増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,158	32,158	31,937		221

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金	1,145	924
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金	530	530
県駐労福祉センター運営費補助金	33	33
労働祭補助金	300	300
鎌倉地区勤労者体育大会補助金	150	150
21節 中央労働金庫預託金	30,000	30,000

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費
◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福祉支援事業

【

商工課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の充実

【 事業の内容 】

- ・中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,510	18,510	18,222		288

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金 18,510 18,222

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
826	826	521		305

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 5人	30	15
8節	技能者表彰記念品等報償費	100	31
11節	消耗品費	30	27
14節	技能祭機材賃借料	214	189
19節	技能職団体連絡協議会補助金	452	259

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課(勤労者福祉担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	25,758	26,451
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 3人	11,955	12,236
・ 3節 職員手当等	9,002	9,839
扶養手当	136	196
地域手当	1,794	1,865
通勤手当	391	534
超過勤務手当	615	914
休日給	10	0
期末勤勉手当	5,540	5,836
住居手当	336	454
児童手当	180	40
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	4,801	4,376
	4,801	4,376

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民防災部商工課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	8,628	8,673
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	5,594	6,109
会計年度事務補助職員 2人		
就労支援アドバイザー 2人		
・ 3節 職員手当等	2,094	2,355
期末勤勉手当		
・ 4節 共済費	376	0
市町村職員共済組合負担金	133	0
社会保険料	243	0
・ 9節 旅費	564	209
費用弁償		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費
◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

農業委員会事務局

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。
- ・農地管理システムから農業委員会サポートシステムへ台帳情報の紐付け作業を実施し、市町村や農地バンク等の関係機関との情報共有を促進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,350	11,350	7,575		3,775

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節 農業委員会委員報酬	13人	9,062	5,428
8節 収穫まつり入賞記念品		5	5
9節 農業委員費用弁償		52	16
11節 消耗品費		301	296
農機具等修繕料		100	0
12節 電信料		138	138
13節 農地管理システム地図データ変換業務委託料		132	132
14節 農地管理システム使用料		1,460	1,460
19節 遊休農地解消対策協議会負担金		100	100

<主な特定財源>

- ・国県支出金 1,503

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

都市整備部農水課
農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	72,007	76,523
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 9人	29,836	33,567
・ 3節 職員手当等	30,509	30,801
扶養手当	1,250	1,219
地域手当	4,939	5,514
通勤手当	855	1,066
超過勤務手当	5,447	3,041
管理職手当	1,973	1,973
期末勤勉手当	13,968	15,930
住居手当	1,151	973
管理職員特別勤務手当	26	73
児童手当	900	990
休日給	0	22
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	11,662	12,155
	11,662	12,155

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部農水課

【 職員給与費 】	(単位:千円)	
<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,872	1,510
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	992	1,092
会計年度事務補助職員 1人		
・ 3節 職員手当等	372	418
期末勤勉手当		
・ 4節 共済費	376	0
市町村職員共済組合負担金	133	0
社会保険料	243	0
・ 9節 旅費	132	0
費用弁償		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費
◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【

農水課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・関谷・城廻地域における農業利用の改善・保全のために調査を行い、調査結果に基づき鎌倉農業振興地域整備計画の見直しを行うため、計画の変更案を作成した。
- ・農業者等による協議を踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画の策定を行った。
- ・さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付するとともに、鎌倉ブランド堆肥事業を支援し、農業の振興を図った。
- ・鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,194	15,009	10,971		4,038

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市農業委員選定委員会委員報酬 3人	156	32
8節	手広川水路清掃作業謝礼等報償費	300	91
11節	消耗品費	171	168
12節	品評会表彰状等筆耕料	3	2
13節	ブランド堆肥運送業務委託料 地域計画策定推進緊急対策事業業務委託料 鎌倉農業振興地域整備計画見直し業務委託料 管理図面作成業務委託料	1,248 2,685 4,942 1,400	970 0 4,730 1,175
14節	優良農業者等表彰会場設営機材等賃借料	133	86
19節	農業関係団体負担金 農業振興事業費補助金 農業振興事業費補助金(脱炭素資材対応分) 新規就農者育成総合対策補助金	176 3,000 1,980 6,000	176 3,000 166 375

<主な特定財源>

・国県支出金 375

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費
◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
892	892	891		1

＜支出内訳＞

	当初予算額	支出済額
8節 市民農園耕作指導報償費	504	504
13節 市民農園草刈等業務委託料	388	387

水産業振興運営事業

【

農水課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・漁業協同組合等への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。
- ・水産業への理解促進及び、魚食普及を図るため、地元漁師に講師を依頼し、地元の魚の紹介や料理を行うイベントを実施するほか、鎌倉市水産業振興計画の推進に関する審議を行った。

事業費

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,537	3,537	2,850		687

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬 7人	136	72
8節 水産業振興事業講師謝礼	45	45
11節 消耗品費	88	84
19節 神奈川県水難救済会等負担金	300	343
漁業施設等災害支援金	500	0
水産業振興事業費補助金(鎌倉)	1,298	1,298
水産業振興事業費補助金(腰越)	870	870
水産多面的機能発揮対策事業補助金	300	138

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費
◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- 施設のライフサイクルコスト低減を図るため平成30年作成の腰越漁港機能保全計画の見直しを行った。
- 腰越漁港内の施設である係船環及び斜路シラ材の修繕を行うとともに、漁港施設の維持管理を行った。
- 腰越海岸から国道への飛砂防止のために海浜整地を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,781	28,108	19,275		8,833

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 漁港施設等維持修繕料	660	497
腰越漁港内係船環修繕料	3,157	2,910
腰越漁港内斜路シラ材修繕料	479	478
13節 腰越海岸海浜整地業務委託料	3,124	2,937
土砂等撤去委託料	540	173
漁港区域内廃棄物処理業務委託料	116	36
腰越漁港機能保全計画見直し業務委託料	22,705	12,244

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費
◎産業振興 ○農業・漁業の振興

【 鎌倉地域漁業支援施設整備事業 】

【

農水課

】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁業支援施設整備について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの支援策を実施するため。

効果 支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・将来的な漁業支援施設整備について検討した。
- ・漁業支援施設整備に必要となる公有水面埋立申請に必要な図書を作成した。
- ・漁業支援施設整備に向け、防波堤工事の積算を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、土質調査及び土木施設の設計を行った。
- ・土木設計の業務内容にもとづき、パースの修正を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,194	178,024	103,140		74,884

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
13節	公有水面埋立願書作成業務委託料	13,519	10,142
	護岸工事積算業務委託料	4,675	0
	防波堤工事積算業務委託料	0	4,422
	鎌倉地域漁業支援施設整備事業土木施設設計業務及び土質調査・深浅測量業務委託(前年度からの繰越明許費)	0	88,246
	鎌倉漁業支援施設整備事業漁具倉庫新築工事パース加工業務委託	0	330

<主な特定財源>

- ・国県支出金 69,501
- ・地方債 19,800

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費
◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市商工業振興計画(働くまち推進計画)の進行管理を行った。
- ・萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
700	908	827				81
<支出内訳>						
1節 商工業振興計画推進委員会委員報酬 8人				92	82	
保育ボランティア謝礼				0	4	
11節 消耗品費				93	18	
13節 姉妹都市物産展設営等委託料				402	402	
姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料				53	53	
姉妹都市物産展チラシ作成業務委託料				51	51	
託児会場運営業務委託料				0	208	
14節 姉妹都市物産展会場使用料				9	9	

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課(消費生活担当)
市民防災部商工課(商工担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	56,066	57,920
・ 2節 給料 一般職	25,817	26,473
一般職職員 6人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	20,503	22,132
扶養手当	814	874
地域手当	4,123	4,250
通勤手当	513	512
超過勤務手当	496	1,408
休日給	28	0
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	11,492	12,091
住居手当	1,217	1,217
管理職員特別勤務手当	13	34
児童手当	820	760
・ 4節 共済費	9,746	9,315
市町村職員共済組合負担金	9,138	8,937
社会保険料	555	327
雇用保険料	53	51

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課

市民防災部商工課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		20,275	18,423
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	13,405	12,867
	会計年度事務補助職員 2人		
	統括消費生活相談員 2人		
	消費生活相談員 4人		
・ 3節 職員手当等		5,162	4,727
	期末勤勉手当		
・ 4節 共済費		376	0
	市町村職員共済組合負担金	133	0
	社会保険料	243	0
・ 9節 旅費		1,332	829
	費用弁償		

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者等の健全な発展及び振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
310,150	309,650	307,306		2,344

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 信用保証料補助金	7,600	6,095
経営安定資金融資利子補給金	2,550	1,211
21節 中小企業融資預託金	300,000	300,000

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 市内の商工業の改善・発達を図ることを目的とした、商工会議所の運営と事業を支援するため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,337	15,337	15,337		0

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 商工会議所運営費補助金	7,605	7,605
商工業振興事業等補助金	553	553
中小企業経営支援事業補助金	7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街団体

意図 商店街団体が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- 専門家の助言を必要とする商店街団体に対してアドバイザーを派遣する事業は、商店街団体から申請がなかったため、実施しなかった。
- 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。
- 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,943	20,735	16,384		4,351

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 商店街アドバイザー派遣謝礼	175	0
19節 商店街連合会補助金	1,710	1,710
商店街街路灯等維持管理費補助金	5,500	4,298
商店街活性化事業費補助金	7,119	4,590
商店街共同施設設置費補助金	6,439	5,786

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

商工課

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源等を活用して創業する者に対し、事業化に要する経費の一部を助成とともに、円滑に事業を実施できるようアドバイザーを派遣した。
- ・事業者が自身の企業情報や求人情報を発信することができるサイトを運営した。
- ・若年層等の起業準備者に対し、起業実現に向けたプログラムを実施した。
- ・企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業は申請がなかったため、実施しなかった。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業は申請がなかったため、実施しなかった。
- ・中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業などの経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・製造業、情報通信業、自然科学研究所、宿泊業等が市内に立地する際に要する経費等の一部を助成した。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の活動として、テレワークに関する研究、情報発信等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,808	21,808	14,125		7,683

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬	2人	47 22
8節	商工業元気アップ事業認定事業者アドバイザー派遣謝礼		132 99
13節	企業・求人情報発信サイト運営委託料		858 858
19節	起業家スタートアップ支援プログラム推進業務委託料		4,000 4,000
	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		41 41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000 2,000
	経営アドバイザー派遣事業補助金		330 0
	環境共生施設整備費補助金		3,000 0
	中小企業経営基盤強化事業費補助金		3,900 2,785
	企業立地整備費等補助金		10,500 4,320

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

事業費					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
910	910	451			459	
<支出内訳>					当初予算額	支出済額
19節 公衆浴場設備整備費補助金					910	451

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

効果 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

事業費					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
7,263	7,263	6,915		348		
<支出内訳>						
11節 鎌倉彫振興事業所光熱水費		704	382			
鎌倉彫振興事業所維持修繕料		1,853	2,022			
カーボン・マネジメント強化事業に係る維持修繕料		1,174	980			
12節 鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料		24	24			
13節 鎌倉彫振興事業所警備委託料		117	116			
19節 伝統的工芸品産業振興協会負担金		50	50			
伝統鎌倉彫振興事業補助金		3,341	3,341			

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

消費者自立支援事業

地域共生課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 消費者対策

施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。
- ・事業者等との連携、協力(暮らし見守りネットワーク)により、市民の日常生活の変化から消費者被害等を発見し、早期の支援につなげた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
717	717	515		202

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	消費生活委員会委員等報酬	72	0
	消費生活紛争調停委員会委員報酬	32	0
8節	消費生活講座等講師謝礼	30	0
9節	消費生活相談員費用弁償	99	52
11節	消耗品費	90	90
12節	電信料	42	42
13節	消費生活相談員助言委託料	297	297
14節	消費生活講座会場使用料	8	4
19節	消費生活相談員研修負担金	47	30

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

エシカル消費推進事業

地域共生課

※重点事業(事業CD:6-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 消費者対策

施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費している商品やサービスの生産背景を知ることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動の理解促進に向け、エシカル消費の普及啓発を図るため。

効果 エシカル消費の理解を深めることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動ができる。

【 事業の内容 】

- ・エシカル消費に関する啓発資料の作成等を行い、広く情報を発信した。
- ・フェアトレードの推進に関する事業を実施する者に対し、補助金を交付した。
- ・フェアトレードタウンに認定された。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,340	1,340	888		452

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	鎌倉市エシカル消費推進アドバイザー等謝礼	200	180
11節	消耗品費	10	10
13節	<u>啓発資料作成委託料</u>	500	473
14節	会場使用料	30	30
19節	フェアトレード推進事業費補助金	600	195

＜主な特定財源＞

- ・国県支出金 444

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○観光振興の推進

観光運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基本計画の推進を図るとともに、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・第4期鎌倉市観光基本計画の策定に向けた調査等を行った。
- ・他の自治体や関係団体との連携により、パンフレットの作成等広域観光の情報発信や情報交換等を行った。

【 事業費 】					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	当初予算額	支出済額
23,861	23,861	22,964		897		
<支出内訳>						
1節 鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 9人			510	390		
11節 消耗品費			209	111		
13節 第4期観光基本計画策定支援業務委託料			21,952	21,246		
14節 会議室使用料			0	27		
19節 三浦半島観光連絡協議会負担金			500	500		
神奈川県観光振興対策協議会等負担金			690	690		
<主な特定財源>						
・国県支出金				2,500		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	65,490	72,604
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 8人	25,174	28,938
・ 3節 職員手当等	30,381	32,598
扶養手当	1,236	1,846
地域手当	4,107	4,783
通勤手当	898	809
超過勤務手当	8,444	7,373
休日給	141	118
管理職手当	1,102	1,102
期末勤勉手当	11,868	14,164
住居手当	1,430	1,033
管理職員特別勤務手当	15	20
児童手当	1,140	1,350
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	9,935	11,068
	9,935	11,068

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

市民防災部観光課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出額
職員給与費	11,060	10,443
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	6,884	7,035
会計年度事務補助職員 6人		
・ 3節 職員手当等	2,584	2,591
期末勤勉手当		
・ 4節 共済費	788	411
市町村職員共済組合負担金	266	147
社会保険料	486	227
雇用保険料	36	37
・ 9節 旅費	804	406
費用弁償		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興事業

【 観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 観光マップ等の充実を図るとともに、鎌倉市混雑可視化マップシステムの機能拡充、駅前での観光案内の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。
- ・ 鎌倉観光公式ガイドの改修を行い、多言語サイトを更新するとともに、防災及び教育旅行ページを追加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,673	42,673	40,590		2,083
<支出内訳>				
11節 印刷製本費			2,294	1,994
12節 運搬料			3	0
13節 観光マップ「鎌倉」作成業務委託料			1,294	1,076
外国語版パンフレット作成業務委託料			1,782	1,407
鎌倉市混雑可視化マップシステム運用・保守業務委託料			3,575	3,575
鎌倉市混雑可視化マップシステム改修業務委託料			10,010	10,010
鎌倉観光公式ガイドコンテンツ作成業務委託料(多言語、 防災、教育旅行)			19,855	19,855
19節 車いす観光バリアフリーマップ作成事業等負担金			480	270
駅前ガイド事業負担金			2,880	903
インバウンド事業調査負担金			1,500	1,500

【 主な特定財源 】

- ・国県支出金 22,186

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的效果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的效果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉ビーチフェスタ、俳句＆ハイクに負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。
- ・ イベントの開催により短期集中的に発生する混雑への対策などに取り組んだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,332	21,332	21,331		1

＜支出内訳＞

	当初予算額	支出済額
19節 俳句＆ハイク事業負担金	486	486
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,100	1,100
主要観光行事安全対策負担金	19,746	19,745

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光協会支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的效果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的效果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,267	47,267	46,576		691

＜支出内訳＞

19節 鎌倉市観光協会運営費等補助金

当初予算額 支出済額

47,267 46,576

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光案内所運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的效果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的效果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	当初予算額	支出済額
23,966	23,966	23,858		108		
<支出内訳>						
12節 電信料					120	92
13節 観光案内所業務委託料					21,532	21,480
14節 観光案内所ブース賃借料					2,178	2,178
観光案内所デジタルサイネージ使用料					64	63
19節 観光案内所電気使用料負担金					72	45

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光施設整備事業

【 公的不動産活用課・観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修や、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・海岸周辺の住環境改善、海岸の景観維持のために下水道排水設備を整備に着手した。
- ・観光客の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の設備更新を行った。
- ・大船駅東口公衆トイレ改修工事監理業務委託及び大船駅東口公衆トイレ改修工事については、入札不調に伴う仕様及び工程変更のため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、滑川有料公衆トイレ解体工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
424,024	490,514	148,854	334,192	7,468
<支出内訳>				
11節 消耗品費			91	83
光熱水費			1,748	1,134
公衆トイレ等維持修繕料			6,547	4,452
木座海岸第一公衆トイレ多目的トイレドア修繕料			0	1,056
鶴岡八幡宮美術館脇公衆トイレ修繕料			0	1,023
12節 電信料			845	845
県道自費復旧事務等手数料			164	170
13節 ハイキングコース等観光施設整備業務委託料			1,000	990
天園トイレ年次点検業務委託料			97	97
観光案内板等作成業務委託料			2,385	1,694
屋外型Wi-Fi接続設備保守業務委託料			871	871
公衆トイレし尿処理業務委託料			1,771	1,564
海岸公衆トイレ汚水槽等清掃業務委託料			499	499
海岸公衆トイレ側溝維持業務委託料			462	352
海岸公衆トイレ汚水槽汚泥処分業務委託料			375	248
大船駅東口公衆トイレ改修工事監理業務委託料(翌年度への繰越明許費)			3,784	0
屋外Wi-Fi接続設備更新業務委託料			8,030	7,264
海岸下水道排水設備調達価格に関する特別調査委託料			0	116
14節 由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料			1,122	1,122
屋外ライブカメラ等賃借料			239	239

15節	<u>大船駅東口公衆トイレ改修工事請負費(翌年度への繰越明許費)</u>	77,253	0
	鎌倉海岸下水道排水設備等設置工事請負費(継続事業・令和6年度分)	285,408	51,800
	<u>滑川有料公衆トイレ解体工事請負費(前年度からの繰越明許費)</u>	0	42,566
19節	ハイキングコースパトロール事業負担金	225	225
	公衆トイレ電気・水道使用料負担金	543	402
	屋外Wi-Fi等電気料等負担金	65	42
	公衆便所建設工事費等補助金	30,000	30,000
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金	500	0
<主な特定財源>			
	・国県支出金		26,574

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

海水浴場運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・海水浴場開設に必要な施設・設備を整備した。
- ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・安心で快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板等の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,731	118,256	114,465		3,791

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	消耗品費	300	153
	燃料費	20	0
	印刷製本費	100	100
	光熱水費	48	12
12節	電信料	177	135
13節	海水浴場監視業務等委託料	41,217	41,216
	砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料	10,230	10,230
	コースロープ設置及び撤去業務委託料	2,115	2,115
	仮設木橋設置等委託料	1,903	1,903
	海水浴場水道管敷設等委託料	811	811
	仮設木橋材料保管・運搬業務委託料	979	950
	看板作成委託料	1,746	1,652
	海水浴場開き式会場設営等委託料	185	185
	海水浴場関連廃棄物処理委託料	327	84
	海水浴場警備業務委託料	12,187	10,961
	ごみ箱設置業務委託料	473	473
	ごみ収集庫運搬・保管業務委託料	638	638
	海岸整地業務委託料	1,309	0
	バリアフリー ビーチ対応業務委託料	495	495
	電気設備等設置業務委託料	6,273	6,273
	ごみ資源化回収業務委託料	6,809	5,559
	ごみ収集・運搬業務委託料	11,050	10,939
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料	20,859	19,239
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金	480	342

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

がけ地対策事業

みどり公園課

※重点事業(事業CD:5-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 防災・安全
施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。
- 防災工事費に対する借り入れ利子の半額を助成する事業には、申請が無かつたため、予算執行は無かつた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,349	138,349	133,377		4,972

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節 消耗品費		70	69
19節 急傾斜地防災工事負担金		73,000	73,000
神奈川県治水砂防協会等負担金		229	229
既成宅地等防災工事費補助金		65,000	60,079
既成宅地等防災工事費利子補給金		50	0

<主な特定財源>

- ・地方債 62,400

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,816	1,816	1,057		759

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	650	628
放射性物質測定装置修繕料	737	0
13節 放射性物質測定装置点検委託料	429	429

道(水)路調査事業

【道水路調査課】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道路・水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭い道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することで的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【事業の内容】

- ・道水路用地の取得等に伴う不動産登記法の規定に基づく土地の分合筆、表示等に係る嘱託登記に当たり、図面、調査票等の作成及び手続について、土地家屋調査士に委託した。
- ・市道等市有地と民有地との土地境界について、現地調査・測量を経て、土地所有者との立会い・協議・承諾を得た上で確定し、土地境界確定図を作成した。
- ・建築基準法の規定によりセットバックした市道沿い民有地について、狭い道路拡幅整備申出書等に基づき、道路用地として取得した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,920	64,003	46,713		17,290

＜支出内訳＞

	当初予算額	支出済額
12節 横浜地方法務局資料閲覧等手数料	1	0
13節 境界確定等測量・調査業務委託料(狭い事業分)	15,209	7,779
表示登記事務等業務委託料	6,160	2,939
境界確定等測量・調査業務委託料(境界確定分)	40,749	34,280
17節 狹い道路拡幅事業用地取得費	4,800	1,715
道水路用地購入費	1	0

＜主な特定財源＞

- ・国県支出金 1,887

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

道水路調査課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好的な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- 市道の形状変更等に伴う道路台帳及び認定路線網図の補正・更新作業を行った。
- 亡失又は経年により現況と公共座標値との点間距離に差異が生じた既設の境界点又は基準点の復元を行った。
- 土地境界確定図管理システムの賃借・運用により市道等に係る土地境界確定図等を管理した。
- 境界復元、開発等に伴う境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- 地籍調査（街区境界調査）により市道等と民有地との土地境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,326	54,243	53,078		1,165

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 消耗品費	1,640	1,404
13節 境界杭復元等業務委託料	23,500	23,084
境界測量等業務委託料	7,400	10,317
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料	11,550	11,550
地籍調査事業測量等業務委託料	2,264	2,211
基準点測量業務委託料	1,683	1,223
14節 土地境界確定図管理システム賃借料	2,620	2,620
土地境界確定図管理システム賃借料(地籍システム追加分)	644	644
19節 神奈川県国土調査推進協議会負担金	25	25

<主な特定財源>

- 国県支出金 1,659

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

道水路管理課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行つた。
- ・道水路許認可等を管理するための道路等占用管理システムを運用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
153,589	153,589	144,420		9,169
<支出内訳>				
11節 消耗品費			500	381
燃料費			1	0
光熱水費			10,432	7,987
道路管理施設維持修繕料(内訳は以下のとおり)			30,774	30,183
大船駅東口001号機エレベーター建屋修繕業務				2,076
大船駅東口及び西口エスカレーター機能維持修繕業務				25,630
道路施設維持修繕業務(ベンチ補修)等維持修繕料				2,477
12節 電信料			730	652
路上放置自転車リサイクル料			15	0
担保取消決定申立に係る手続等手数料			0	2
道路賠償補償保険料			853	853
13節 鎌倉駅道路管理施設清掃等業務委託料			1,425	1,263
鎌倉駅通り抜け地下道排水ポンプディーゼルエンジン保守点検			220	220
業務委託料			150	150
鎌倉駅通り抜け地下道制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務				
委託料				
大船駅道路管理施設清掃業務委託料			3,406	3,056
大船駅管理施設警備監視業務委託料			19,986	16,881
大船駅監視設備保守管理業務委託料			726	726
大船駅エレベーター等保守管理業務委託料			9,937	9,937
北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料			13,587	12,532
道路維持業務委託料			14,000	12,912
路上放置自動車処理業務委託料			40	0
道路損傷等通報システム関連業務委託料			264	264
14節 大船駅西口ペデストリアンデッキ用地賃借料			1,542	1,542
大船駅西口公共広場用地賃借料			40,639	40,639

	道路占用等管理システム賃借料	1,159	1,158
	軽自動車賃借料	449	449
19節	大船駅西口エスカレーター本体及び制御装置電気料負担金	708	641
	神奈川県道路利用者会議負担金	46	22
22節	道路事故賠償金	2,000	1,953
23節	<u>過誤納金還付金</u>	0	17

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

道水路管理課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,049	65,331	52,875		12,456

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料	22,308	17,073
	街路照明灯維持修繕料	14,550	4,995
13節	街路照明灯新設撤去業務委託料	3,500	2,222
	街路照明灯柱点検業務委託料	18,178	18,073
14節	LED街路照明灯賃借料(平成27年度契約分)	4,569	4,568
	LED街路照明灯賃借料(令和4年度契約分)	5,944	5,944

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)

都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課・みどり公園課(がけ地対策担当)

都市整備部のうち都市整備総務課(都市整備総務担当)・道水路管理課・道水路調査課・

作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		717,177	713,972
・ 2節 給料	一般職	325,899	321,316
	一般職職員 84人		
	短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等		273,096	277,975
	扶養手当	9,692	9,521
	地域手当	52,119	51,549
	通勤手当	8,615	8,332
	超過勤務手当	21,581	24,383
	休日給	100	104
	管理職手当	11,864	12,850
	特殊勤務手当	48	0
	期末勤勉手当	149,794	151,929
	住居手当	13,601	13,828
	管理職員特別勤務手当	157	4
	児童手当	5,525	5,475
・ 4節 共済費		118,182	114,681
	市町村職員共済組合負担金	117,850	114,120
	雇用保険料	332	316
	社会保険料	0	245

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課

都市景観部のうち都市調整課・建築指導課・みどり公園課

都市整備部のうち道水路管理課・道水路調査課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		68,436	69,214
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	41,813	44,637
	会計年度事務補助職員 22人		
	会計年度公共施設調査設計業務等補助員 3人		
	開発等許認可指導員 1人		
	危険ブロック塀指導等補助職員 2人		
・ 3節 職員手当等		15,678	17,430
	期末勤勉手当		
・ 4節 共済費		6,373	5,429
	市町村職員共済組合負担金	2,093	1,947
	社会保険料	3,831	3,023
	雇用保険料	449	459
・ 9節 旅費		4,572	1,718
	費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

・建築積算システム機器の賃借及び保守等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,792	21,741	17,141		4,600
<支出内訳>				
11節 消耗品費			1,768	1,879
印刷製本費			62	5
13節 石綿含有保温材等調査業務委託料			21,439	6,144
第一小学校空気環境測定業務委託料			0	140
腰越小学校空気環境測定業務委託料			0	246
位相差偏光顕微鏡分析業務委託料			0	313
今泉小学校他空気環境測定業務委託料			0	285
富士塚小学校他空気環境測定業務委託料			0	188
小中学校体育館各所天井作業用足場架け払い業務委託料			0	491
玉縄中学校体育館空気環境測定業務委託料			0	184
外壁調査業務委託料(鎌倉消防署)			1,572	0
外壁調査業務委託料(大船消防署)			1,311	0
外壁調査業務委託料(七里ガ浜消防出張所)			653	0
外壁調査業務委託料(鎌倉消防署他2施設)			0	2,238
14節 建築積算システム機器賃借料			3,322	3,363
營繕積算システム等賃借料			1,665	1,665

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

都市整備総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・道路施設の維持管理に必要なシステムの運用等を行った。
- ・鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画の改訂作業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,157	2,157	2,092		65

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画策定委員会委員報酬 5人	208	146
11節 一般文具等消耗品費	122	120
13節 道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料	1,306	1,306
14節 道路施設維持管理共同システム使用料	521	520

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
178,631	178,631	151,434		27,197
<支出内訳>				
11節 消耗品費			2,957	2,453
作業用車両燃料費			1,800	1,049
光熱水費			156	99
道路管理施設等維持修繕料			13,000	12,818
消耗品等維持修繕料			180	10
備品修繕料			500	62
作業用車両修繕料			3,000	2,879
医薬材料費			39	38
12節 電信料			678	527
消防設備保守点検等手数料			22	20
13節 上町屋資材置場警備委託料			100	100
残土処分委託料			4,827	5,567
カーブミラー設置業務委託料			2,622	976
排水管渠等浚渫清掃業務委託料			15,773	10,684
道路側溝等浚渫汚泥運搬処分業務委託料			4,260	2,822
道路等小規模修繕業務委託料			21,000	9,295
道路・河川清掃等業務委託料			54,990	47,243
草刈及び樹木維持管理等業務委託料			16,433	19,764
14節 維持補修用重機賃借料			3,980	2,930
16節 補修用原材料費			32,000	31,555
18節 備品購入費			0	315
19節 法定講習負担金			8	8
22節 補填金			1	0
賠償金			1	0
27節 自動車重量税			304	220

* 補修用原材料費内訳

アスファルト合材 549.4 t 13,671 千円
カーブミラー部材 49 面 2,963 千円
側溝蓋等 76 枚 652 千円

車止め・分離標等	10 本	709 千円
転落防止柵等	1 式	676 千円
スチール透水蓋	150 枚	7,622 千円
生コンクリート他	1 式	5,262 千円

* 補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工	30 m^2
	アスファルト舗装打換工	63 m^2
	パッチング	1,517 m^2
	カーブミラー新設・補修工	220 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

建築相談事業

建築指導課

※重点事業(事業CD:5-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 防災・安全
施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- 木造住宅の耐震改修工事や防災ベッド等の設置を行った場合の費用を補助した。
- 危険ブロック塀等の除却及び除却後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に通学路を重点的に補助した。
- 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣を行った。マンションの耐震診断費用の補助は、申請がなかった。
- 耐震改修促進計画に位置付けられた、耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用の補助は、申請がなかった。
- 耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の木造建築物を耐震改修及び除却した場合の費用の補助は、申請がなかった。

事業費		(単位:千円)		
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,662	20,741	20,253		488
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼			102	17
11節 消耗品費			106	101
印刷製本費			25	17
13節 耐震相談業務委託料			355	354
19節 現地耐震診断補助金			1,474	1,474
木造住宅耐震改修工事費等補助金			8,600	8,570
危険ブロック塀等対策事業補助金			18,581	9,420
マンション耐震診断補助金			1,500	0
避難路沿道建築物耐震診断補助金			2,519	0
避難路沿道木造建築物耐震化補助金			3,000	0
防災ベッド等設置事業費補助金			400	300
<主な特定財源>				
・国県支出金				11,472

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

都市調整課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	141		327

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
9節 会計年度任用職員費用弁償	2	0
11節 消耗品費	461	136
19節 神奈川県九市開発許可研究協議会負担金	5	5

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

開発審査課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を1件付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・大規模盛土造成地の経過観察箇所の整理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
214	214	133		81

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節 大規模盛土造成地耐震防災対策相談員謝礼 51 0

11節 消耗品費 163 133

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
 ◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

建築指導課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。
- ・建築確認台帳等電子化の整備を行った。
- ・建築確認DB等作成及び建築総合情報システム構築の整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
142,552	142,552	135,507		7,045
<支出内訳>				
1節 建築審査会委員報酬 4人			378	42
建築審査会専門委員報酬 3人			128	54
9節 建築審査会委員等費用弁償			30	5
11節 消耗品費			422	389
印刷製本費			73	73
12節 筆耕翻訳料			220	46
特定行政庁団体賠償責任保険保険料			50	50
13節 特定建築物等定期報告業務委託料			8,273	6,315
長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務 委託料			264	0
建築確認台帳等電子化補助業務委託料			8,272	7,832
建築確認DB等作成及び建築総合情報システム構築業務委託料			122,870	119,152
14節 建築行政共用データベースシステム利用料			1,133	1,133
公会堂等使用料			4	0
19節 神奈川県建築物震後対策推進協議会等負担金			435	416

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件 名	件 数
建築確認	26
計画通知	2
建築許可	98
道路位置指定	0
長期優良住宅認定	238
低炭素建築物認定	8

<主な特定財源>

・国県支出金

88,264

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・ 土木総合情報管理システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,555	48,555	48,151		404
<支出内訳>				
11節 消耗品費			806	792
印刷製本費			16	0
備品修繕料			50	50
12節 電信料			131	133
13節 土木総合情報管理システム保守委託料			11,594	11,594
工事資材単価調査業務委託料			373	359
14節 土木総合情報管理システム機器賃借料			31,027	31,027
市町村積算システム利用料			3,960	3,960
電子複写機賃借料			598	236

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部都市計画課(交通安全担当)
都市整備部道路課(整備担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	112,422	122,918
・ 2節 給料 一般職	47,180	49,583
一般職職員 14人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	47,530	54,798
扶養手当	2,680	2,340
地域手当	7,607	7,936
通勤手当	957	974
超過勤務手当	9,595	14,307
休日給	174	178
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	21,591	23,614
住居手当	1,766	2,562
管理職員特別勤務手当	13	0
児童手当	2,160	1,900
・ 4節 共済費	17,712	18,537
市町村職員共済組合負担金	17,653	18,476
雇用保険料	59	61

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
まちづくり計画部都市計画課

(単位:千円)

職員給与費	当初予算額	支出済額
<支出内訳>		
職員給与費	9,687	9,971
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	6,322	6,535
会計年度事務補助職員 1人		
交通安全教育主任指導員 1人		
交通安全教育指導員 2人		
・ 3節 職員手当等	2,365	2,505
期末勤勉手当		
・ 4節 共済費	412	413
市町村職員共済組合負担金	133	147
社会保険料	243	228
雇用保険料	36	38
・ 9節 旅費	588	518
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通安全対策事業

都市計画課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,274	34,274	23,660		10,614

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 自転車教室指導員謝礼	512	360
9節 交通安全教育指導員費用弁償	9	0
11節 消耗品費	478	251
12節 交通安全教室傷害保険料	15	8
13節 スクールゾーン対策業務委託料	6,500	2,029
14節 軽貨物自動車賃借料	225	224
19節 鎌倉市交通安全対策協議会補助金 鎌倉交通安全協会補助金	26,210	20,468
大船交通安全協会補助金	160	160
22節 交通安全教室参加者賠償金	5	0

<主な特定財源>

- ・国県支出金 9,565

放置自転車防止事業

都市計画課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・老朽化が進んだ大船駅東口自転車等駐車場の修繕等を実施設計した。
- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を行った。
- ・歩行者の安全な通行を確保するため、放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の管理を行った。
- ・カーボン・マネジメント強化事業を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
97,432	89,357	64,488		24,869
<支出内訳>				
11節 消耗品費		22	0	
光熱水費		357	265	
放置自転車等保管場所等維持修繕料		409	332	
カーボン・マネジメント強化事業に係る維持修繕料		242	242	
12節 電信料		42	37	
13節 放置自転車等対策関連設備設置等業務委託料		459	0	
放置自転車等防止対策業務委託料		51,670	43,594	
大船駅東口自転車等駐車場修繕等実施設計業務委託料		17,556	14,045	
湘南深沢駅自転車等駐車場設置及び撤去業務委託料		20,459	0	
富士見町駅仮設自転車等駐車場設置業務委託料		3,604	3,366	
14節 稲村ヶ崎駅自転車等駐車場土地使用料		256	255	
鎌倉駅西口第一自転車等駐車場土地使用料		2,253	2,253	
16節 駐輪場修繕用原材料費		103	99	

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 】 道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,070	9,070	8,482		588

＜支出内訳＞

当初予算額 支出済額

11節 ガードレール塗装等維持修繕料 470 292

カラーフラッシュ等維持修繕料 2,600 2,215

13節 道路ライン等設置業務委託料 6,000 5,975

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 】 道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- 交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- 西鎌倉二丁目2番先外における根上り対策等工事は、年度内に実施できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,715	57,321	26,764	26,917	3,640

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
13節	交通安全対策施設予備設計等業務委託料	11,748	10,780
15節	交通安全対策施設等工事請負費	54,967	15,984
	内訳		
	常盤631番地先(市道027-000号線)歩道段差等改善	9,394	0
	津西一丁目17番先外(市道055-000号線)歩道段差等改善 歩道段差等改善11箇所	8,558	8,965
	西鎌倉二丁目2番先外(市道023-000号線外)根上り対策等 (翌年度への繰越明許費)	26,917	0
	常盤862番地先(市道027-000号線)歩道整備 歩道拡幅 延長27.0m	10,098	7,019

【 主な特定財源 】

- 国県支出金 1,574
- 地方債 12,900

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。
- ・前年度からの事故繰越しにより、小町一丁目9番先における舗装工事を実施した。
- ・大船六丁目9番先外における舗装工事は、年度内に実施できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度からの繰越し明許費による北鎌倉隧道安全対策等検討業務は、年度内に実施できなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
700,883	663,119	393,394	96,338	173,387
<支出内訳>				
11節 道路維持修繕料			10,200	8,165
13節 道路維持管理業務委託料			42,122	50,659
横断歩道橋点検調査業務委託料			7,601	1,897
トンネル長寿命化修繕計画策定業務委託料			4,642	4,246
大船駅西口ペデストリアンデッキ長寿命化修繕計画策定業務委託料			2,607	2,376
大船駅東口ペデストリアンデッキ修繕工事積算業務委託料			2,673	2,211
斜面崩落対策詳細設計等業務委託料			11,396	6,442
路面下空洞調査業務委託料			8,305	6,036
路面下空洞追跡調査業務委託料			16,379	12,100
トンネル修繕設計等業務委託料			18,546	15,983
道路施設測量業務委託料			3,674	417
北鎌倉隧道安全対策等検討業務委託料 (前年度からの繰越し明許費)			0	0
14節 工事用仮駐車場賃借料			540	1,080
15節 道路維持修繕等工事請負費			543,198	260,267
内訳				
小町一丁目9番先(001-064号線)			0	8,161
舗装工 延長56.8m 面積177.4m ²				
(前年度からの事故繰越し)				
高野17番地先(市道205-172号線外)舗装修繕			27,137	0
佐助一丁目2番先(市道031-000号線外)舗装打換			34,331	26,947
舗装工 延長487.7m 面積1,273.0m ²				
大船六丁目2番先(市道059-000号線)舗装打換			49,313	41,057

舗装工 延長140.5m 面積1,014.0m ²		
大船六丁目9番先外(市道205-039号線外)舗装打換 (翌年度への繰越明許費)	96,338	0
津1069番地先外(市道202-015号線外)舗装打換	75,515	0
淨明寺六丁目2番先外(市道038-001号線外)舗装打換	99,000	76,105
舗装工 延長2,066.3m 面積8,659.0m ²		
淨明寺一丁目8番先(市道035-013号線外)斜面崩落対策 斜面対策工 一式	106,150	56,778
岡本一丁目19番先(市道208-001号線)斜面崩落対策 斜面工 一式	35,695	43,197
長谷五丁目11番先(市道029-015号線)道路修繕 舗装打換・排水整備等要望箇所	4,719	0
舗装工 延長83.0m 面積233.8m ²	15,000	8,022
19節 JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	29,000	21,515

<主な特定財源>

・国県支出金	22,200
・地方債	229,300

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、坂ノ下33番先における舗装工事を実施した。
- ・七里ガ浜二丁目20番先外における舗装工事は、年度内に実施できなかつたため、翌年度へ繰越しを行つた。
- ・前年度からの繰越明許費による、二階堂6番地先における舗装工事は、入札不調により実施できなかつた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
162,305	273,229	60,148	102,828	110,253

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
13節 舗装構成(FWD)調査業務委託料		11,880	7,061
15節 大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		150,425	53,087
内訳			
坂ノ下33番先(市道010-063号線)舗装打換 舗装工 延長345.1m 面積1,192.9m ² (前年度からの繰越明許費)		0	26,601
閑谷1553番地先(市道062-000号線)舗装打換 舗装工 延長496.0m 面積2,031.3m ²		33,561	26,486
津1718番地先(市道022-014号線)舗装打換 七里ガ浜二丁目20番先外(市道015-000号線外)舗装打換 (翌年度への繰越明許費)		12,716	0
二階堂6番地先(市道204-044号線外)舗装工 (前年度からの繰越明許費)		104,148	0
		0	0

<主な特定財源>

- ・国県支出金 11,634
- ・地方債 25,000

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・劣化が著しい箇所の補修等を行い、安全な交通を確保した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
105,334	105,334	63,636		41,698

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	橋りょう維持修繕料	2,000	1,175
13節	橋りょう点検調査業務委託料	30,866	17,673
	橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料	5,731	5,236
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費	66,737	39,552
内訳			
	小袋谷一丁目2番先外(鶴舞田歩道橋外5橋)橋りょう補修工	50,237	26,178
	材木座三丁目7番先外(古川橋外4橋)橋りょう補修工	16,500	13,374

<主な特定財源>

・国県支出金	12,720
・地方債	28,100

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良好な環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。
- ・下水道用地の管理に起因する事故に係る賠償金を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,529	1,909	1,878		31

＜支出内訳＞

	当初予算額	支出済額
8節 河川維持管理協力団体報償費	300	270
14節 浸水対策排水施設用地土地賃借料	1,229	1,229
22節 下水道用地の管理に起因する事故に係る賠償金	0	379

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課(河川担当)

(単位:千円)

職員給与費	当初予算額	支出済額
<支出内訳>		
職員給与費	30,215	25,537
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 4人	13,985	11,835
・ 3節 職員手当等	10,926	9,912
扶養手当	618	528
地域手当	2,170	1,854
通勤手当	418	430
超過勤務手当	423	780
休日給	10	7
期末勤勉手当	6,431	5,578
住居手当	676	530
児童手当	180	205
・ 4節 共済費	5,304	3,790
市町村職員共済組合負担金	5,124	3,790
社会保険料	180	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費
◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	2,257	2,053
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	1,263	1,436
会計年度事務補助職員 1人		
・ 3節 職員手当等	474	551
期末勤勉手当		
・ 4節 共済費	376	0
市町村職員共済組合負担金	133	0
社会保険料	243	0
・ 9節 旅費	144	66
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費
◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川維持補修事業

下水道河川課

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 下水道・河川
施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・河川の良好な維持管理をするために、普通河川滝ノ川の維持修繕工事を行った。
- ・準用河川等の浚渫を行った。
- ・準用河川等の除草、枝払い等を行った。
- ・河川の維持修繕に係る実施設計業務を委託を行った。
- ・神奈川県河川協会へ参加し、その活動により治水及び利水事業の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,080	169,701	146,683		23,018

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 河川管理施設等維持修繕料	5,200	4,486
13節 準用河川等浚渫業務委託料	27,954	23,034
準用河川除草・枝払い等業務委託料	3,600	2,439
河川維持修繕実施設計業務委託料	42,020	33,097
15節 河川維持修繕工事請負費(普通河川滝ノ川)	91,179	83,500
19節 神奈川県河川協会負担金	127	127

<主な特定財源>

- ・地方債 104,800

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費
◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

雨水施設維持管理事業

下水道河川課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 下水道・河川
施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・雨水調整池の浚渫を行った。
- ・雨水調整池の除草、枝払いを行った。
- ・河川の水位等の状況をカメラにて監視した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,563	44,563	39,562		5,001

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	消耗品費	109	99
	印刷製本費	23	0
	雨水調整池管理施設維持修繕料	1,500	685
	備品修繕料	87	76
13節	雨水調整池浚渫業務委託料	22,974	19,477
	雨水調整池除草・枝払い等業務委託料	1,800	1,163
	下水道管路施設等包括的民間委託料	12,742	12,734
14節	河川等監視カメラ・データ使用料	5,160	5,160
	軽貨物自動車賃借料	168	168

緑政運営事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。
- ・ 緑地の維持管理に係る相談を所有者等から受け、現地確認の上助言を行った。
- ・ 特別緑地保全地区の都市計画決定に伴う公共嘱託登記及び標識設置業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,867	2,867	2,551		316

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 10人	306	164
	緑化推進専門委員報酬 1人	408	408
	緑地維持管理相談専門委員報酬 1人	102	102
9節	緑化推進専門委員等交通費	35	6
11節	消耗品費	101	101
	印刷製本費	263	254
13節	特別緑地保全地区標識設置業務委託料 土地の取得等に伴う表示に関する公共嘱託登記業務委託料 (特別緑地保全地区)	462	328
		1,009	1,007
19節	森林協会等負担金	181	181

緑化啓発事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,703	7,703	6,184		1,519

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	ポスターコンクール参加記念品	114	94
11節	消耗品費	31	31
13節	緑化啓発に関する業務委託料	5,170	5,170
19節	緑化まつり負担金	160	159
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(件数:9件 総延長:80.06m)	988	687
	まち並みのみどりの奨励事業補助金 (危険ブロック塀等対策事業分)(件数:1件 総延長:1.7m)	1,240	43

緑地保全事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・保存樹木、樹林、生け垣の所有者を支援するため、奨励金を交付した。
- ・市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・民有緑地を将来にわたり良好に保全するため、当該緑地の所有者等に対し維持管理に要した費用の一部を助成した。
- ・寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
90,440	94,861	80,388		14,473

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費	45	45
13節	緑政策務支援GIS保守業務委託料	253	253
	市民の身近な森づくり事業委託料	3,000	2,585
	つながる募金サービス利用料	27	1
19節	保存樹木奨励補助金(59件 311本)	596	560
	保存樹林奨励補助金(154件 2,249,969.15m ²)	12,450	12,098
	保存生け垣奨励補助金(78件 7,240.67m ²)	797	600
	緑地保全契約奨励補助金(98件 466,201.40m ²)	7,597	6,772
	民有緑地維持管理助成事業補助金(70件 220,040m ²)	58,800	48,883
25節	緑地保全基金利子積立金	75	93
	緑地保全基金寄附等積立金	6,800	8,498

【 主な特定財源 】

- ・国県支出金 1,000

風致保存会助成事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,982	17,182	16,162		1,020

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 風致保存会運営費補助金	10,382	10,382
25節 風致保存基金寄附等積立金	1,800	2,890
26節 風致保存会寄附金	1,800	2,890

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好的な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・ 対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・ 令和6年度は、浄明寺・十二所地区、大町・材木座地区の2地区で事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,536	30,536	23,857		6,679

<支出内訳> 当初予算額 支出済額
13節 樹林維持管理委託料 30,536 23,857

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理事業

【

みどり公園課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災等に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
214,654	214,654	150,990		63,664

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	市有緑地愛護会報償金	590	187
11節	消耗品費	7	7
	光熱水費	60	58
	管理施設維持修繕料	3,613	487
12節	電信料	48	39
	緑地に関する賠償補償保険等保険料	1,298	798
13節	緑地維持管理委託料	96,603	83,133
	常盤山管理棟警備委託料	92	91
15節	緑地維持管理工事請負費 (仮称)長谷3号緑地斜面地対策工事請負費	7,260	0
22節	賠償金	105,083	63,050
		0	3,140

<主な特定財源>

- ・地方債 58,600

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理計画推進事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 予防保全型管理への転換と防災対策の視点による計画的な緑地の維持管理を図るため。

効果 市有緑地のライフサイクルコストの縮減と安全性の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・落石防護柵やフェンス等、緑地に設置された施設の更新、修繕を年次計画に基づき行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,059	8,059	5,705		2,354

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
11節 管理施設維持修繕料	5,059	3,355
13節 緑地維持管理委託料	3,000	2,350

【都市景観形成事業】

【都市景観課】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 都市景観
施策の方針 良好な都市景観の形成

【事業の目的】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てるにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【事業の内容】

- ・古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・屋外広告物の規制についての普及啓発を行うとともに、鎌倉市屋外広告物条例を運用し、適正な規制・誘導を行った。
- ・景観上重要な建造物等の保存活用を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,465	18,765	16,771		1,994
<支出内訳>				
1節 景観審議会委員報酬 10人			306	266
8節 景観アドバイザー等相談謝礼			85	34
9節 会計年度任用職員費用弁償			7	1
11節 消耗品費			100	95
印刷製本費			600	530
旧村上邸各所小破修繕料			600	273
12節 違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料			6	6
13節 旧村上邸植栽等管理(害虫駆除含む)委託料			700	697
景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料			407	198
若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン運用支援業務委託料			866	833
14節 学習センター使用料			8	5
19節 景観重要建築物等助成金			3,000	2,564
25節 景観重要建造物等保全基金新規積立金(旧村上邸分)			1,914	1,914
景観重要建造物等保全基金運用利子積立金			66	24
景観重要建造物等保全基金寄附等積立金			7,800	9,331

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎都市景観 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

都市景観課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 都市景観
施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務を行った。特別緑地保全地区内行為許可の申請はなかった。
- ・歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
307	307	305		2

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	消耗品費	100	98
	印刷製本費	68	68
	風致地区内標柱修繕料	119	119
19節	古都保存連絡協議会負担金	20	20

<主な特定財源>

・国県支出金 155

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
837	837	652		185
<支出内訳>				
11節 消耗品費			30	13
既存車止め等維持修繕料			168	0
13節 看板撤去等業務委託料			369	369
19節 サーフ90ライフセービング事業負担金			270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

市街地整備課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地のまちづくりについて、目標や課題を共有し、古都鎌倉の玄関口として多くの市民・来訪者が快適に共存できる魅力的な空間の創出に向けた検討を進める。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅周辺地区の今後のまちづくりについて、関係者と協議調整を進めた。
- ・ 鎌倉駅周辺のまちづくりの方針に基づき指導や助言等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68	68	0		68

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節 技術アドバイザー謝礼 68 0

大船駅周辺整備事業

市街地整備課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本計画(案)」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本計画(案)」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき指導や助言等を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の下水道管未接続箇所における臭気問題の改善に向けた検討を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
569	569	358		211

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
9節 会計年度任用職員費用弁償	2	0
11節 消耗品費	115	82
大船駅周辺管理地維持修繕料	100	0
12節 火災保険料	2	2
13節 砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料	350	274

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金

市街地整備課

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,700	10,048	10,048		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額 支出済額
12,700 10,048

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインの運用に当たり、地区全体の再開発等促進区及びエリアマネジメント手法と組織の検討、(仮称)深沢地区まちづくり条例の検討を行った。
- ・ 深沢地域整備事業用地における地中埋設物等の調査及び撤去を行った。
- ・ 令和5年度に実施した埋蔵文化財の調査における報告書の作成を行った。
- ・ 新駅設置に伴う工事の負担金を支出した。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、深沢小学校・深沢交差点道路整備に係る予備設計等を実施した。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、三菱電機南側道路整備に係る予備設計等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
160,884	192,846	124,711		68,135

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節 深沢地区まちづくり委員会委員報酬	268	0
8節 技術アドバイザー謝礼	85	17
9節 会計年度任用職員費用弁償	13	1
11節 消耗品費	600	548
印刷製本費	761	256
深沢地域整備事業用地維持修繕料	600	429
13節 深沢地域整備事業用地管理委託料	10,000	4,209
深沢地区まちづくりガイドライン運用等委託料	13,413	18,326
深沢まちづくり特設ホームページ運営等業務委託料	4,079	3,235
富士塚小学校交差点用地測量委託料	1,521	445
富士塚小学校交差点用地不動産鑑定評価委託料	212	0
地中埋設物等調査業務委託料	10,403	9,240
地中埋設物等撤去業務委託料	84,375	28,090
埋蔵文化財調査委託料	7,069	6,292
三菱電機南側道路整備予備設計等委託料(前年度からの繰越明許費)	0	10,722
深沢小学校・深沢交差点道路整備予備設計等委託料(前年度からの繰越明許費)	0	15,541
14節 会場使用料	127	2
19節 新駅設置負担金	27,358	27,358

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスター・プランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正・印刷を行い、活用・販売した。
- ・都市計画業務支援システム用機器の更新を行い、同システムの運用・活用により、業務効率化を図った。
- ・県下一致に実施される都市計画基礎調査の背景図として使用する都市計画基本図の修正と、その修正した都市計画基本図等を用いて3次元可視化ツールを構築する作業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,090	55,090	54,158		932
<支出内訳>				
1節 都市計画審議会委員報酬 12人			528	214
11節 消耗品費			289	284
印刷製本費			3,846	3,598
12節 電信料			50	16
13節 都市計画業務支援システム保守業務委託料			781	781
都市計画基本図等データ設定及び都市計画関連データ等修正業務委託料			3,751	3,751
都市計画業務支援システム接続環境設定等業務委託料			1,188	1,188
都市計画基本図修正等及び3D都市モデル整備業務委託料			44,000	43,967
14節 都市計画業務支援システム用機器賃借料			637	357
説明会等会場使用料			20	2
<主な特定財源>				
・国県支出金				22,040

交通環境整備事業

【

都市計画課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通実態を把握し交通対策上の基礎資料とするため、交通状況(渋滞・交通量)に関するデータを収集した。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、関係事業者との調整を行った。
- ・パークアンドライド案内看板の維持修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,875	1,875	1,620		255

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 消耗品費	742	741
印刷製本費	509	294
パークアンドライド案内看板維持修繕料	550	511
19節 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金	74	74

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通体系整備事業

都市計画課

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市交通計画検討委員会を開催し、鎌倉市交通マスタープランの改定作業に着手した。
- ・鎌倉市地域公共交通活性化協議会を開催し、鎌倉市地域公共交通計画の策定に着手した。
- ・国土交通省と連携し、自動車利用の抑制策に関する検討や(仮称)鎌倉ロードプライシングにおける技術的側面や法的側面の条件整理等に係る協議・調整を行った。
- ・八幡宮前交差点に交通誘導員を配置し交通の円滑化を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,894	50,894	44,087		6,807

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 交通計画検討委員会委員報酬 9人	462	246
鎌倉市交通マスタープラン策定委員会委員報酬	426	0
鎌倉市地域公共交通計画策定委員会委員報酬	426	0
8節 鎌倉市地域公共交通活性化協議会会員謝礼	0	256
交通政策専門員等報償費	68	0
11節 印刷製本費	500	0
光熱水費	143	133
歩行者尊重道路整備等修繕料	500	0
観測用カメラ等修繕料	550	495
12節 電信料	584	583
広告料	18,860	18,854
13節 鎌倉市交通計画検討委員会等に係る資料作成等業務委託料	3,520	0
鎌倉市交通マスタープラン策定業務委託料	10,065	9,889
鎌倉市地域公共交通計画策定業務委託料	11,055	10,879
八幡宮前交差点における交通誘導業務委託料	3,644	2,722
14節 会場使用料等	91	30

<主な特定財源>

・国県支出金	13,218
--------	--------

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

新交通システム等整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

【 事業の内容 】

・二階堂・浄明寺地区で社会福祉法人が運行する無料の乗り合い車の利用促進に向けて地元自治会や関係事業者との協議等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,648	3,648	40		3,608

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市地域公共交通会議等委員報酬	184	0
8節 学識者等謝礼	85	0
11節 消耗品費	85	40
印刷製本費	500	0
13節 鎌倉市地域公共交通会議資料作成等業務委託料	2,775	0
14節 会場使用料	19	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎総合交通 ○交通環境の整備

公共交通支援事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- 電力価格の高騰により増加した運行費用の一部を負担し、地域公共交通の運行維持及び地域住民の移動手段を確保することを目的に補助金を交付した。

【 事業費 】					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	当初予算額	支出済額
0	9,832	9,622		210	0	9,622

<支出内訳>

- 19節 鎌倉市鉄道事業者電力価格高騰対策補助金

<主な特定財源>

- 国県支出金

9,622

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74	74	70		4

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 消耗品費	17	16
14節 会場使用料	3	0
19節 関東国道協会等負担金	54	54

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 】 道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業や、国・県が施工する都市計画道路等の事業事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23	23	22		1

<支出内訳> 当初予算額 支出済額
11節 一般文具等消耗品費 23 22

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に参加し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に参加し、政府・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40	40	40		0

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会等負担金	40	40

街路樹維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,753	42,753	33,578		9,175

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 街路樹愛護会報償費	1,305	1,180
11節 花(ポット苗)購入費	360	315
13節 大船駅東口花壇維持管理委託料	1,197	1,197
街路樹維持管理委託料	39,891	30,886

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち市街地整備課(市街地整備担当)・深沢地域整備課・

都市計画課(交通安全担当を除く)

都市景観部のうち都市景観課・みどり公園課(がけ地対策担当を除く)

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	465,024	476,844
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 58人	206,653	210,212
・ 3節 職員手当等	182,153	189,523
扶養手当	7,058	6,992
地域手当	33,490	34,047
通勤手当	6,582	7,067
超過勤務手当	18,993	21,543
休日給	123	142
管理職手当	9,557	9,775
期末勤勉手当	95,453	98,149
住居手当	7,949	8,440
管理職員特別勤務手当	128	208
児童手当	2,820	3,160
・ 4節 共済費	76,218	77,109
市町村職員共済組合負担金	76,097	76,995
雇用保険料	121	114

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部のうち市街地整備課・深沢地域整備課・都市計画課

都市景観部都市景観課

都市整備部道路課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	19,567	20,579
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	12,146	13,364
会計年度事務補助職員 7人		
都市デザイン専門員 1人		
・ 3節 職員手当等	4,006	4,597
期末勤勉手当		
・ 4節 共済費	2,083	2,089
市町村職員共済組合負担金	665	736
社会保険料	1,215	1,139
雇用保険料	203	214
・ 9節 旅費	1,332	529
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費
⑨下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

- ・下水道事業会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,155,620	3,155,620	3,155,620		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額	支出済額
3,155,620	3,155,620

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園維持管理事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・公園施設長寿命化計画により、計画的な補修更新等の維持管理を実施するとともに、地域の特性や市民ニーズに対応した公園の創造を図った。
- ・都市公園行政に関する最新の動向等について、情報収集や他自治体との意見交換、国県に対する要望活動等を行った。
- ・公園台帳の情報をデータベース化し、共通基盤GISに搭載するための委託を行った。
- ・点検等で使用禁止となり、既に撤去した遊具について、地域のニーズを調査し新たな遊具を設置した。
- ・前年度からの繰越明許費により、夫婦池公園堤体補修設計業務委託を行った。
- ・カーボンマネジメント強化事業として、笛田公園の照明をLED化した。
- ・東勝寺橋ひぐらし公園復旧工事請負費については、入札不調により執行できなかつたため、翌年度へ繰越しを行つた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
589,769	563,446	481,758	27,588	54,100
<支出内訳>				
11節 消耗品費			393	196
維持修繕料(公園施設長寿命化計画分)			26,421	12,861
維持修繕料			1,541	442
維持修繕料(長寿命化計画前倒分・使用禁止遊具対応)			29,898	11,341
維持修繕料(緊急修繕随時分)			3,500	3,256
12節 裁判提起に伴う手続手数料等			0	38
ボランティア保険料			21	20
13節 都市公園(笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く)指定管理料			275,337	275,337
都市公園(笛田公園)指定管理料			26,643	25,735
鎌倉広町緑地指定管理料			28,685	28,685
児童遊園等管理委託料			11,172	11,172
公園維持管理委託(随時)			52,124	40,703
台帳データベース化委託料			16,857	16,852
公園維持管理委託料(撤去済遊具対応分)			18,110	12,925
夫婦池公園堤体補修設計業務委託料(前年度からの繰越明許費)			0	11,898
14節 源氏山公園用地賃借料			1,000	1,000

	児童遊園土地賃借料	12,023	12,181
	笛田公園用地、緩衝緑地土地賃借料	5,247	5,247
	梶原六本松公園土地賃借料	2,456	2,456
	笛田公園野球場コートローラー賃借料	532	532
	鎌倉海浜公園管理事務所賃借料	8,118	8,118
	笛田公園更衣室賃借料	2,486	0
	カーボン・マネジメント強化事業に係る賃借料	462	71
15節	東勝寺橋ひぐらし公園復旧工事(第1期)(翌年度への繰越明許費)	17,781	0
	東勝寺橋ひぐらし公園復旧工事(第2期)(翌年度への繰越明許費)	9,812	0
	鎌倉海浜公園坂ノ下地区レストハウス解体工事請負費	39,050	0
19節	日本公園緑地協会等負担金	100	92
22節	<u>仮処分申し立てに伴う供託金等</u>	0	600
<主な特定財源>			
・国県支出金			8,426

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費
◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園整備事業

みどり公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・山崎・台峯緑地の維持管理等を行った。
- ・山崎・台峯緑地(都市緑地)の基本設計を策定した。
- ・小袋谷子どもの広場の都市公園都市計画図書作成等を行った。

事業費					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
71,225	71,225	49,007			22,218	
<支出内訳>						
11節 消耗品費				85	75	
12節 ボランティア活動保険料				10	10	
13節 都市公園等整備事業用地維持管理等業務委託料				9,130	7,602	
山崎・台峯緑地(都市緑地)基本設計策定業務委託料				40,491	22,308	
小袋谷子どもの広場都市公園都市計画図書作成等業務委託料				5,852	5,445	
都市公園整備事業用地維持管理等業務委託料				9,746	7,656	
19節 岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金一般財源相当額償還				5,911	5,911	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費
◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園用地取得事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

・山崎・台峯緑地用地を取得し、供用区域拡大に向け準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
132,027	66,915	66,035		880

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 消耗品費	110	97
印刷製本費	200	0
13節 山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	1,085	418
公共嘱託登記業務委託料	1,985	0
17節 山崎・台峯緑地用地購入費	128,647	65,520

<主な特定財源>

・国県支出金 21,530
・地方債 38,700

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費
◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅管理運営事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者募集など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借上住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,862	150,862	144,935		5,927
<支出内訳>				
1節 市営住宅入居者選考委員会委員報酬			104	0
11節 消耗品費			54	52
印刷製本費			38	38
光熱水費			0	320
市営住宅各種修繕料			6,160	0
12節 電信料			0	16
深沢第5住宅明渡訴訟手数料			0	7
13節 公営住宅管理システム保守点検業務委託料			413	412
市営住宅等指定管理料			46,695	46,695
市営住宅樹木等剪定業務委託料			671	0
市営住宅残置物の撤去費用			0	1,235
14節 公営住宅管理システム用機器等賃借料			765	764
福祉型借上市営住宅賃借料			93,609	93,704
19節 神奈川県地域住宅協議会負担金			2	2
市営住宅管理費等負担金			1,690	1,690
新笛田住宅管理費等負担金			660	0
22節 過少収納時補填金			1	0

【 主な特定財源 】

・国県支出金

27,448

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

住宅政策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・住宅マスタートップランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。
- ・鎌倉市マンション管理適正化推進計画を策定し、マンション管理組合等への支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
404	404	336		68
8節 研修会等講師謝礼			63	15
11節 消耗品費			15	11
13節 居住支援業務委託料			311	310
14節 研修会等会場使用料			15	0

【 主な特定財源 】

・国県支出金

139

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費
◎住宅・住環境 ○住環境の整備

空き家等対策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・鎌倉市空き家等対策計画に基づき、具体的な施策を構築するための検討を行った。

事業費					(単位:千円)	
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
2,745	2,745	1,143			1,602	
<支出内訳>						
1節 空き家等対策協議会委員報酬 11人			224	112		
11節 消耗品費			66	57		
印刷製本費			335	275		
13節 空き家調査業務委託料			2,120	699		

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅集約化事業

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ PFI事業により市営住宅の建替えを進めた。
- ・ 市営住宅の設計及び建設等を行った。
- ・ 市営深沢第6住宅の一部解体を行い、継続費年割分の残額を翌年度へ繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,912,577	1,416,688	1,288,265	16,984	111,439

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	消耗品費	40	36
13節	PFI事業業務委託料	1,815,611	1,209,523
	市営深沢第6住宅入居者移転支援業務委託料	6,897	6,897
	PFI事業モニタリング支援業務委託料	10,516	10,394
	既存建物消火器処分業務委託料	33	33
	PFI事業用地残置物撤去業務委託料	9,900	262
15節	市営深沢第6住宅解体工事請負費(継続事業・令和6年度分)	53,020	48,400
22節	市営住宅入居者移転補償金	16,560	12,720

<主な特定財源>

- ・国県支出金 573,220
- ・地方債 578,800

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部都市整備総務課(住宅担当)

【 職員給与費 】		(単位:千円)	
<支出内訳>			
職員給与費		当初予算額	支出済額
・ 2節 給料 一般職		37,295	54,096
一般職職員 7人		16,643	23,767
・ 3節 職員手当等		14,141	21,824
扶養手当		498	361
地域手当		2,551	3,619
通勤手当		569	682
超過勤務手当		1,284	4,214
休日給		10	15
期末勤勉手当		7,557	10,864
住居手当		1,252	1,829
児童手当		420	240
・ 4節 共済費		6,511	8,505
市町村職員共済組合負担金		6,511	8,505

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費
◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部都市整備総務課

【 職員給与費 】		(単位:千円)	
<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		2,883	2,948
・ 1節 報酬 会計年度任用職員		1,683	1,868
会計年度事務補助職員 1人			
・ 3節 職員手当等		632	716
期末勤勉手当			
・ 4節 共済費		376	364
市町村職員共済組合負担金		133	143
社会保険料		243	221
・ 9節 旅費		192	0
費用弁償			